

## 1 基本的な考え方

- ・ 第9回本部会議において、都主催イベントの延期・中止の考え方や都庁におけるテレワーク等の取組をはじめとして、都としての基本的な方針を示した。
- ・ この数日間における情勢の変化を踏まえ、基本的な方針をもとに、より具体的・集中的に取り組む対策として取りまとめたものである。
- ・ 3つの視点を踏まえ都として取り組む事項、都と民間が連携して取り組む事項、民間にお願いする事項として整理を行った。
- ・ 今後、3週間程度（～3/15）を集中対策期間とし、関係各局で連携を図りつつ更なる感染拡大防止に向けて取り組む。

## 2 集中的取組

以下の3つの視点から、今後3週間程度（～3/15）集中的取組を実施

### I 医療体制の充実

相談・検査体制の強化、医療提供体制の充実、SNS等の活用 など

### II 感染拡大の防止

#### ① イベントの延期・中止、都立施設の対応等

都主催イベント等の延期・中止、都民利用施設における対応 など

#### ② 官民におけるスムーズビズの加速化

時差ビズの推進、テレワークの強力な推進、健康管理の徹底 など

#### ③ 学校等における対策の強化

都立学校における対応、区市町村立学校との連絡体制強化等 など

### III 広報の強化徹底

広報体制の強化、新型コロナウイルス専門HPの立上げ・SNS等の活用 など

## 3 今後の対応

事態の進行により、対策の強化、修正、変更が必要な場合には、東京都新型コロナウイルス感染症対策本部で議論し、都度、対策を迅速に具体化していく。

# 都民の皆さまへ～新型コロナウイルス感染症が心配なとき～

【感染を疑う方】発症前2週間以内に・・・

- ・「新型コロナウイルス感染者」と濃厚接触※をした方で、①発熱または②呼吸器症状がある方
- ・「流行地域※を訪問した方」または「流行地域への渡航・居住歴がある方と濃厚接触した方」で①発熱37.5度以上かつ②呼吸器症状がある方

あてはまらない

あてはまる

「風邪のような症状」「37.5℃以上の発熱」  
「強いだるさや息苦しさ」がある方



(一般の方) 症状が4日以上続く場合

(高齢・基礎疾患がある・妊婦の方)  
症状が2日程度続く場合

不安に思う方

微熱や軽い咳が出ている

感染したかもしれないと不安



新型コロナ受診相談窓口 (帰国者・接触者電話相談センター)  
に電話 (24時間対応)

【平日(日中)】各保健所 ※電話番号は福祉保健局HPに掲載  
【土日祝・夜間】03-5320-4592

新型コロナコールセンターに電話  
【午前9時から午後9時(土日祝含む)】  
0570-550571 (2/28から)

専門的な助言が必要な場合  
受診相談窓口を案内

受診が必要と判断

受診が不要と判断

新型コロナ外来 (帰国者・接触者外来) を受診

※マスクをして公共交通機関をできるだけ使わずに

医師が検査の必要なしと判断

医師が検査の必要ありと判断

PCR検査 (東京都健康安全研究センター等)

陰性

自宅で安静

医療機関を受診

※症状が良くならない場合は、  
再度受診相談窓口にご相談

陽性

入院 (感染症指定医療機関等)

※濃厚接触：疑い事例との同居・長時間の接触、感染防護措置なしで患者の診察・看護・介護、感染の疑いがある方の体液等に直接接触

※流行地域：中華人民共和国 湖北省又は浙江省 大韓民国 大邱広域市又は慶尚北道清道郡